

事業所における自己評価（公表）

公表：平成31年3月6日

事業所名 児童発達支援センター 柿が丘学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	1		年齢・活動等の幅が広いので、利用者多いと手狭
	2	職員の配置数は適切である	2	8	・日々の配置数は適切であるが、全体数としては若干不足しているため、行事など協力しあっている	・職員数が足りない ・個別対応が必要な場合が増え、職員の増員が必要である ・休みが重なったり、訪問や研修で職員が抜けると適切でなくなる
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10		・毎日の清掃で清潔を保っている。 ・静と動の空間が保たれ、自由に行動できるようにしている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	10			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1		・平成30年度から実施 ・今年度から実施し、保護者の意向を把握することで業務改善の手がかりとしたい ・今年度実施予定
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	4		速やかに行いたい
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	5		順次行っていきたい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10		・平成30年度から実施 ・今年度から実施し、保護者の意向を把握することで業務改善の手がかりとしたい ・今年度実施予定	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10		・様々な研修の案内が回覧され、機会を確保されている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10			

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10			・日々カンファレンスで振り返りを行い、支援について検討している
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10			・チームでも日々振り返りを行い、週案の参考としている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10			・年間、月間、週刊プログラムを立案し、工夫している ・時期やこどもの状況によって活動を話し合っている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	10			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10			・朝礼時に毎日確認し、周知徹底を心がけている ・朝礼後に打ち合わせをし、確認している
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10			・療育終了後、カンファレンスを行っている ・降園後にカンファレンスを行い、情報の共有を図っている ・今年のカンファレンスは話がしやすい雰囲気があり、情報共有ができていると思う
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	1		医療的ケアの必要な児への支援の事例がない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	2		医療的ケアの必要な児への支援の事例がない

関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問や職員の来園等で観察と情報交換をおこなうことで情報共有と相互理解を図っている ・関係機関に連絡をして、様子を見てもらい情報共有を行っている 	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10		<ul style="list-style-type: none"> ・すこやかファイルを使っての情報交換会で引継ぎを行っている ・すこやかファイル等を使って引き継ぎを行っている 	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	8		<p>時折、近隣の子どもたちが訪れてくることはあるが、意図的な交流は行っていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・併用利用のお子さんにはあるが、日々利用のお子さんにはない
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	10			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での様子を聞いて情報共有している 	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	4		<ul style="list-style-type: none"> ・特別な研修などは受けたことがなく、できない
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10		<ul style="list-style-type: none"> ・必ず保護者の同意を得ている ・作成した支援計画を示して説明し、同意をもらっている 	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱を設置している。日々の対応の中で迅速かつ適切で誠意をもった対応になるよう努めている ・保護者の用事がある時など、療育時間外でも対応している 	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・園たより(毎月)や保健だよりで発信している ・月1回の園だよりの他にも、行事についての配布物を通して発信している 	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・退勤前には所定の棚に戻し、鍵をかけている 	

	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10		<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの状況を把握し、意思疎通が図れるよう勘案している 写真や絵カードなどを使って伝わりやすいように工夫している 	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	3		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	1		マニュアルはあると思うが、周知されていないように思う。嘔吐がはやる時期には、誰でも処理ができるよう訓練が必要だと思う
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10		<ul style="list-style-type: none"> 毎月様々な想定の下、訓練を行っている 	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	1	<ul style="list-style-type: none"> 入園説明や聴き取りの際に必ず確認している。また、必要時、詳細を看護師が確認している 	<ul style="list-style-type: none"> 服薬やてんかん等は事前の確認ができているが、予防接種の確認は行っていない
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10		<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示書を提出してもらい、周知し日々の中で職員間で確認している 	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		<ul style="list-style-type: none"> カンファレンスと報告書で周知している 	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	1		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	6	<ul style="list-style-type: none"> 必要性を感じたことがない 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、身体拘束の必要性がないと判断しているが、事案によっては充分検討を重ねた上で慎重に対応したい 身体拘束について、話し合ったり、記載したことがない

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です